



▲当日は大竹沖の水深27メートル前後を探索  
 ◀30~35センチの良型がメイン



茨城県鹿島港出船

撮影◎鈴木良和

★ショウサイフグとしてマックスといえる40センチ級の大型も数尾交じった

▲これは38センチ、いやはやホントに大きい  
 ▼重量感たっぷりで引き味も満点

尺オーバーの良型ぞるい  
 秋が釣りごろ鹿島のデカフグ



▲取材した不動丸は乗船料にアルゼンチンアカエビ1袋が含まれる。追加エサは別料金でエビのほかアカガイやホヤもある  
 ▶写真のエサ付けはエビの殻を一部むいてあるが、むかなくてもOK

▲大きなフグはラインをつかんで抜き上げよう  
 ▶早朝は夜光のオモリが効く!?



▲初心者も良型ゲット  
 ◀この位置にハリ掛かりすれば合わせのタイミングはバッチリ

エサをたっぷり食べて丸まる肥えたショウサイフグが釣れ盛る秋。茨城県鹿島港出船では、ご覧のとおり30~35センチ級の良型主体に40センチオーバーの特大大サイズを交えつつ、いい日は規定の80尾に到達する釣れっぷり。  
 今年は当地で定番のアオヤギエサが不足しており、ほとんどのフグ船でアルゼンチンアカエビが使われている。東京湾では一般的にエビの頭を取り殻を3節分むいてエサ付けするが、鹿島では殻をむかずとも食いに遜色はなく、アタリが伝わりやすいというエサ持ちもいいのでお試しを。  
 (詳細は52ページ参照)



◎茨城県鹿島港・不動丸 菅原 靖人船長